

8/31 令和8年度五者懇談会 行政説明 17:30～18:15

『特別支援教育の充実について』

文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課長原田雄一

◎資料要約

政策部担当 中野美奈子

1. 令和9年度概算要求について（12月に予算成立予定）

全体としては、前年度比 +20 億の 195 億円を要望

2. 内容：発達障害自閉症に係るものとして 61 百万円（+4 百万円）

『支援事業の背景』すべての学級に特別な教育的支援が必要な児童生徒が在籍していることを前提として、一人一人の教育的ニーズに対応した切れ目のない適切な支援が継続して行われる必要がある。発達障害のある幼児児童生徒等に対する、就学前から教育と福祉等の関係機関の連携による切れ目のない支援体制の構築、高等学校における通級指導などの充実等が求められる。

① 幼稚園などにおける特別支援教育体制モデル構築事業

幼児への適切な支援、小学校等への引継ぎ、教員の専門性の向上等、幼稚園などにおける特別支援教育体制のモデルを構築

② 学習障害のある児童生徒等に対する ICT を活用した効果的な支援に関する実践研究

就学前の診断が困難とされている学習障害児に対する1人1台端末を含む ICT 機器を活用した効果的な支援について実践研究を実施

③ 高等学校における特別支援教育充実事業（拡充）

合理的配慮の提供に係る構内体制の整備、進学、就職などの進路の希望も見据えた関係機関との連携、通級による指導の質的・量的充実等、高等が公における特別支援教育体制のモデル構築

④ ICT を活用した教育・福祉の情報共有促進モデル事業

ICT を活用した学校と障害児支援施設等との効果的かつ効率的な情報共有の在り方についてモデル構築